

作成日2025年 7月 17日
(最終更新日20 年 月 日)

受付番号： I2025-160

課題名：神経伝導検査波形に対する機械学習を用いた多次元解析

1. 研究の対象

2006年1月から2024年3月31日に当院を受診し、「手根管症候群」「肘部管症候群」と診断され、神経伝導検査を実施された方

2. 研究期間

研究実施許可日から西暦 2028 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は、研究実施許可日です。
外部への提供を開始する予定はありません。

4. 研究目的

本研究の目的は、末梢神経障害（手根管症候群、肘部管症候群など）の評価として従来行われている神経伝導検査の電位波形からより臨床所見（痛み、しびれ、麻痺、自覚的機能、神経障害の重症度、神経障害の病態など）を反映する因子を抽出することです。

臨床現場では、従来の神経伝導検査の評価項目として使用されている振幅や伝導速度結果が、必ずしも臨床所見に一致しないことを経験します。臨床的に末梢神経障害が疑われるものの神経伝導検査で障害を特定できない症例が、手術により症状改善を認めるケースがあります。そのため、患者さんの状態をより正確に把握することができる指標を獲得することは、病態把握、治療選択、予後予測の観点から意義があり、末梢神経障害の診療に大きく貢献することが期待されます。

5. 研究方法

「手根管症候群」「肘部管症候群」と診断され、神経伝導検査を実施された方の検査データについて、従来使われている評価指標（潜時、振幅、速度、面積、持続時間）に加え、波形の形状、周波数成分、尖度、対称性、揺らぎなど、多元的な定量的特徴量を抽出し、臨床症状との関連性を評価します。

本研究において、対象者の方に新たに行っていただく検査等はありません。従いまして、対象者の方の費用負担、または謝礼金もございません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテから、臨床情報（身体所見、患者立脚型アンケート結果、画像情報等）や年齢、身長、体重、既往等）を取得します。また、神経伝導検査結果も取得し、取得に際し患者ごとにIDを付与し、個人を識別不可能な状態にします。

7. 外部への試料・情報の提供

なし

8. 研究組織

「本学単独研究」

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は研究責任者の研究費（ＪＡ共済交通事故医療研究助成）等を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか、研究結果の公表が公正に行われえないのではないかなどの疑問を第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

本研究に関するご質問等の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学病院 運動器機能形態学講座

連絡先：03-5803-5926 t-sasaki.orth@tmd.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学病院 運動器機能形態学講座 佐々木亨

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）